

国際学術研究集会への出席補助金受領候補者の募集のお知らせ

—国際学術交流委員会—

日本気象学会細則第7章「国際学術交流」に基づき、国際学術研究集会への旅費もしくは滞在費の補助を下記により行いますので、希望者は期日までに応募願います。

記

1. **対象の集会**
2000年12月1日～2001年5月31日の期間外国で開かれる国際学術研究集会
2. **応募資格**
日本気象学会会員で国際学術研究集会に出席し論文の発表もしくは議事の進行に携わる予定の者。ただし、ほかから援助のあるものは除く。なお大学等の研究を本務とする機関で定職に就いている方の複数回の助成は原則として認めないこととする。
3. **募集人員**
若干名
4. **補助金額**
開催地域を考慮し最高15万円程度
5. **応募手続**
所定の申請書類を期日までに国際学術交流委員会（〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内日本気象学会気付）に提出する。大学院生は指導教官の推薦状を併せて提出する。
期日：2000年9月15日
注：申請書は最新の様式のものを用いること。申請書の様式は断りなく変更することがある。古い様式の申請書で応募しても受理しない。e-mailでの申請は受け付けない。
6. **補助金受領者の義務**
当該集会終了後30日以内に集会出席の概要を「天気」に掲載可能な形式で1ページ（2000字）程度にまとめ、報告書として委員会に提出する。

第18期日本学術会議会員選挙の報告

住 明正・田中 博・新野 宏

第18期日本学術会議会員選挙が、5月17日（水）14時から、東京六本木の日本学術会議で行われた。地球物理関係では、気象学会推薦の上記3名と海洋、地震、火山などの他の地球物理関連学会から推薦された合計

12名の推薦人による会員候補者の推薦及びこれに伴う選挙を行い、地球宇宙科学の西田篤弘氏（前宇宙研究所長、現日本学術振興会監事）と地震学の入倉孝次郎氏（京大防災研究所）が会員候補者として選ばれた。